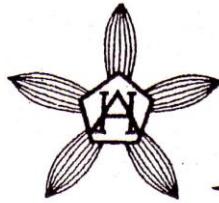


みんな「あったかチルドレン！」



東秋留

10月号

令和7年9月30日
あきる野市立
東秋留小学校



いじめは絶対許しません。

— 生姜祭りでの出来事から… —

校長 田中 淳志

9月9日（火）、参列した生姜祭りの式典を終えて挙殿から出てくると、「田中先生！」と、少し遠くの方から呼びかけられました。「あれっ？、聞き覚えのある声…、でも…？」振り返りながら声の聞こえてきた方向を見ると、今年43歳になる教え子「K君」の姿がありました。突然の出来事に驚きましたが、正に「聞き覚えの声」の主であり、大人の声への変化がある中、約30年の時間が経っても、声だけでの主を特定できること、そして、再会できることに、元担任として大きな喜びを抱きました。青梅のある神社の神主から、毎年、私が、生姜祭りの式典に参列していることを聞いたとのことで、わざわざ、当時PTA本部役員をしていたお母様と弟と3人で会いに来てくれたのでした。K君との2年間の出来事は勿論のこと、私は、ほぼ毎年、希望でPTA担当をしており、「すべては子どもたちのために一学校を支える」を合言葉に、PTA役員の方々と、皆で、楽しみながら、様々な活動を進めていたことを思い出しました。短時間でしたが、当時の児童の学校生活やPTA活動等、次々と甦らせながら、懐かしい話ができ、楽しい一時を過ごしました。たまたま10月中旬に、昭和の時代、そして、K君を担任していた頃を含めた平成の時代の中頃まで、西多摩地区合同で組織していた小学校教育研究会算数部の諸先輩方と、26年ぶりに再会できる会が計画され、当時、最先端を走り進んでいた西多摩の算数教育の実践をはじめとした様々な教育活動の思い出話をすること、また、令和6年12月に文部科学大臣から中央教育審議会に学習指導要領改訂に向けた諮問があった中、これから（令和の時代）の算数等の指導の在り方をはじめ、学校教育の今昔について語り合えることを楽しみにしていたところでした。K君とその家族との再会、そして、そこでした話も、会の話題の一つにできそうです。9月19日（金）には、中央教育審議会の特別部会で「次期学習指導要領の論点整理案」が大筋で了承されました。教育の大きな変化の方向性が詰まっている案です。新しいことを考えていくときには、様々な場面において、過去（故き）の経験（活動）を振り返りながら、その中にあった良さや、長きにわたる成果を生かしながら、その先の活動を創っていくこと

が必要です。時代とともに変化していること、変化してよかつたことはたくさんありますが、良いこと、価値あること、時代が変わっても変わることのないこと（基礎・基本）は、繋げていくことが大切です。教育活動の推進には、学校と地域・家庭・保護者・PTA等、「連携」が、より一層求められています。「次期学習指導要領の論点整理案」を読むと、その達成を目指す教育活動を推進するには、やはり、「連携」の強化が大事であることを感じます。引き続き、皆様の御理解・御協力をお願いします。

さて、生姜祭りでは、大勢の児童、卒業した中学生、地域・保護者の方々と出会い、声をかけられました。特に、中学生からは、「久々に、校長先生に会えて・話せて嬉しい。」等と言われ、その態度や大きく成長している様子に、こちらも嬉しくなりました。翌週（9月14日〔日〕）には、平沢八幡社の祭礼があり、ここでも同じように児童、卒業した中学生、地域・保護者の方々から、それぞれに声をかけられました。こちらは気付かず、声をかけてもらうことが多いのですが、皆、笑顔で声をかけてくれ、こういう機会には、いつも、東秋留地区の地域性の素晴らしさを感じています。5年後、10年後…、いつになんでも、出合ったとき、どの教員にも「○○先生！」と、声を発することのできる東秋留小児童であり続けて欲しい、今回もまた、そう思いました。PTA役員の皆様、子どもも神輿の係や巡回パトロール等、暑い中、本当に疲れさまでした。東秋留小全児童・全教員・全保護者を代表してお礼を申し上げます。

生姜祭り宵宮演芸大会では、①東小ソーラン（有志）②ダンスクラブメドレー（ダンスクラブ）③ティーチャーズダンス（教員有志）、平沢八幡社祭礼演芸大会では、①ブラザービート（有志）、②モンスター（平沢子ども会保護者）、野辺敬老大会では、野辺神樂囃子保存会所属児童、市制30周年記念式典（8月末）では、秋川歌舞伎保存会所属児童・野辺神樂囃子保存会所属児童、市の陸上大会（100m走、800m走、リレー、走り幅跳び）では、参加希望児童（1500m走では星野先生も出場）、たくさんの児童等が、それぞれに地域で大活躍した9月でした。